



大出現・しし座流星雨！



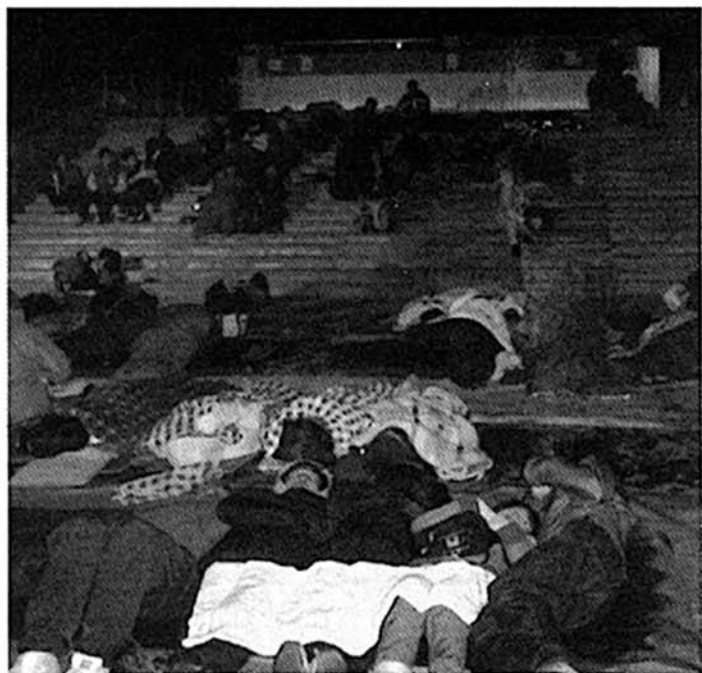
今年のしし座流星群は、専門家の予想どおり日本で大出現しました。銀河の森天文台では、この日200人以上の来館者が観望会に参加、天文台の駐車場は満車となり、それでもなお車が天文台に上がってくるという状況でした。全国的に晴天に恵まれましたが、北海道の一部が曇りの天気予報で、陸別町も18日夜半前は曇りのあいにくの天候でしたが、19日午前0時半を過ぎたあたりからは、回復して雲の切れ間から、流星が流れ始めると観望会参加者の歓声が銀河の森に響きました。極大予報時間が近づくにつれて、流星の数も増し、1時間あたりの流星数は5,000個から7,500個を超える勢いで降ってきました。

銀河の森天文台では、「ライブ・レオニド」実行委員会に協力して、陸別から全世界にインターネットでしし座流星群の中継をしていました。この中継は、陸別、広島、沖縄、オーストラリアからの4元中継で、18日23時から19日朝5時までの6時間に530万件ものアクセスがあったそうです。

天文台では、説明会、観望会を開催しながら写真撮影、

ビデオ撮影による観測も実施しました。写真撮影では、撮影したコマのすべてに流星が写っていたことから、すさまじい流星嵐であったことがわかります。ビデオにも同時にいくつも流れていました。

この日の出現は、マクノート博士とアッシャー博士によって、時刻とおよその数が予報されていました。ほぼその予想通りに流星嵐が起きたといえます。その先生方の予報によると、2002年11月18日から19日にも大出現が予想されていて、北アメリカでもっともよく見えるだろうということです。しかし、この日は次の日が満月ということで、流星を見るにはかなり条件が悪く、明るいものしか見られないと思われまます。この予報が、万が一十数時間前後にずれなければ、また銀河の森に流星が舞ってくれるのですが、どうなるでしょうか。2003年以降は、あと100年近くは見られないということだそうです。



※コテージ村のご利用を

- ・10人用コテージ 30,000円
ベッド7人、和室4人の最大11名の宿泊可、陸別産カラマツ32cmログ、サウナ付
- ・6人用コテージ 18,000円
ベッド6人、カラマツ18cmログとログ風の2タイプあり
- ・半地下タイプコテージ 20,000円
ベッド4人、和室4人最大8名宿泊可、ロフト・サウナ付

冬の星空



☆ 冬のみどころ

紅葉で彩られた秋もあっという間に過ぎ去り、再び雪が舞う寒い冬がやってきました。寒空のもとで星を見るなんて……と、ついおっくうになってしまいそうですが、そんな凍てつく寒さの中に輝く冬の星座たちはたとえようもない美しさです。冬の大きな三角を中心にただでさえ明るい星が目立つ冬の星空に今年はおうし座に0等星の土星、ふたご座に-2等星の木星が輝いているため、冬の夜空がひととき華やかに見えます。暖かい格好で、冬ならではの美しい星空を楽しみましょう。

みんなが夢見た21世紀の幕開けの年、2001年は天文の世界ではしし座流星雨という大イベントで始まり、早くも新たな世紀に歴史を刻む天文現象となりました。今年もアメリカで月明かりの中、たくさんの流星が流れると言われているしし座流星群。またあの感動を日本で味わえないかといついつい願わずにはいられません。2002年、今年注目の天文現象という、やはりまたしし座流星群となるのでしょうか。

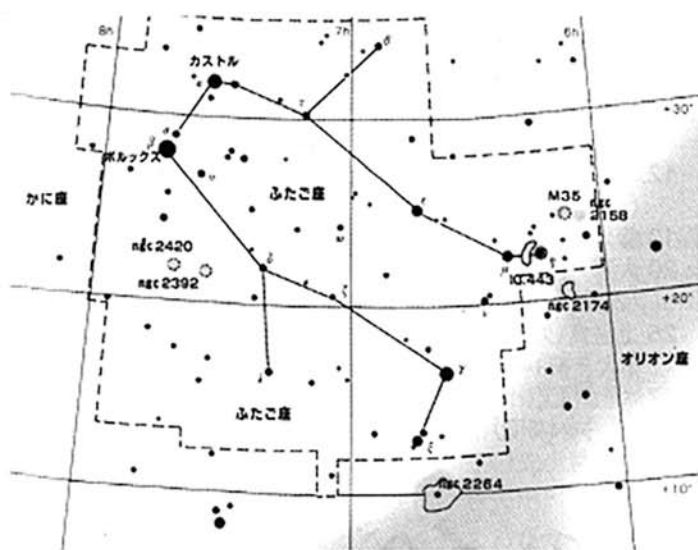
●	1等星
●	2等星
●	3等星
●	4等星
●	5等星
◎	変光星
○	散開星団
⊕	球状星団
◎	惑星状星雲
□	散光星雲
○	銀河

星座ガイド

ふたご座

黄道12星座のひとつ「ふたご座」は「冬の大きな三角形」の上の辺りにあり、二つの明るい星「カストル」と「ポルックス」から星が二列に並んだ格好をしています。二つの明るい星はふたごの頭に輝く星で、西側にある2等星の星が兄の「カストル」。東側の1等星の星が弟の「ポルックス」です。

しかしなぜ兄のカストルの方が2等星なの(？)と思われることでしょう。星は各星座ごとに明るい星から順にアルファ(α)、ベータ(β)、ガンマ(γ)…とギリシャ文字がつけられています。しかしふたご座に至っては現在2等星のカストルがα、1等星のポルックスがβと順番が逆になっています。これはかつては明るかったカストルが6つの星が複雑に回りあう6重連星系であるため、連星の互いの影響力によりその後以前より暗くなってしまったのだろうと考えられています。



エスキモー星雲(NGC2392)

何かと賑やかな冬の星座の中で、ふたご座はあまり目立った天体の少ない星座です。そんな中、弟ポルックスのお腹の部分に輝くδ星の東側にある惑星状星雲をご紹介します。視直径が小さいため大きな望遠鏡でなければ形が分かりにくい天体ですが、大きく拡大してみるとその形が防寒服のフードをかぶったエスキモーの顔に似ていることから「エスキモー星雲 (NGC 2392)」と呼ばれています。こうした惑星状星雲は星の末期にできる天体で、恒星の中心にあるヘリウムの燃焼によって外側のガスが周囲に放出され、そのガスが中心星の紫外線の影響によって電離し、プラズマとなった粒子が輝いています。

距離：1300光年

暦象

(陸別町)

	日の出	日の入	月 齢	月の出	月の入
1月1日	6:54	16:03	17.2	17:50	8:33
1月15日	6:51	16:17	1.6	8:08	17:43
2月1日	6:38	16:39	18.6	20:38	8:56
2月15日	6:21	16:58	2.8	7:59	19:39
3月1日	5:59	17:16	16.8	19:30	7:22
3月15日	5:35	17:34	1.1	6:25	18:32
4月1日	5:05	17:54	18.1	22:11	7:15
4月15日	4:40	18:11	2.3	5:59	20:34

「ガス惑星」天文まめ知識

地球は地面のある岩石でできた惑星ですが、木星や土星などは地面のないガス惑星であるということを知っていますか。太陽系の惑星は地球や火星のように岩石でできた惑星と、木星や土星のようにガスでできた惑星の2種類があります。木星などの場合、このガスはほとんどが水素のかたまりで、残り10%程がヘリウム、そして表面の大気層にはアンモニアのガスが渦巻いています。ガスのかたまりと言っても星の内部に行くにしたがって超高温、高圧のため水素は気体ではなく液体や固体化しており、中心部には岩石の核があります。このようなガス惑星ではとても地球のように宇宙船で着陸することはできません。ちなみに太陽のように自分で光っている星(恒星)は皆やはり主に水素のガスでできています。

天文行事&暦

1月

- 1 木星が衝(-27等)
- 4 りゅう座ι流星群が極大
最大50個/時
極大時間 午前3:00
- 5 小寒
(24節季:太陽黄径285°)
- 12 水星が東方最大離角
(-0.6等 離角19°01')
- 13 ●新月
- 20 大寒
(24節季:太陽黄径300°)
- 25 土星食(九州方面)
潜入午前1:48,出現午前2:29
- 27 木星食(東北以北で西天の超低空)
潜入午前4:48(陸別),高度3.4°
- 29 ○満月

2月

- 4 立春
(24節季:太陽黄径315°)
- 12 ●新月
- 19 雨水
(24節季:太陽黄径330°)
- 22 水星が西方最大離角
(0.0等 離角26°35')
- 23 木星が月の南0°52'に接近
- 27 ○満月
今年最大の満月、南中時の視直径(34.0')
- 28 月が最近
(356897km=今年最近)

3月

- 6 啓蟄
(24節季:太陽黄径345°)
- 12 宵の西空での黄道光の観望好期
- 14 月が最遠
(406706km=今年最遠)
- 新月
- 20 東京以北で土星食
(陸別:19時17分潜入、20時22分出現)
土星食観望会
- 20~31 町民無料観望会
- 21 春分
(24節季:太陽黄径0°)
- 22 木星が月の南1°08'に接近
- 29 ○満月

4月

- 5 清明
(24節季:太陽黄径15°)
- 7 小惑星バンドラによるふたご座ポルックス(1等星)の食
- 13 ●新月
- 中旬 夕方の西天に金星、火星、土星、木星が集合
- 17 土星が月の南0°47'に接近
- 20 穀雨
(24節季:太陽黄径30°)
- 22 こと座κ流星群が極大
- 27 ○満月

冬のイベント情報

○新年木星・土星観望会

この時期木星、土星が地球に接近し、開館時間内に最も良く見える季節を迎えるため観望会を開催します。

開催日時 平成14年1月6日(日)～20日(日)
説明会 午後7時から(土・日のみ)

○町民無料観望会

3月20日(水)～31日(日)まで、町民の皆さんへ天文台の無料開放を行います。

(但し月曜・火曜は休館日です。)

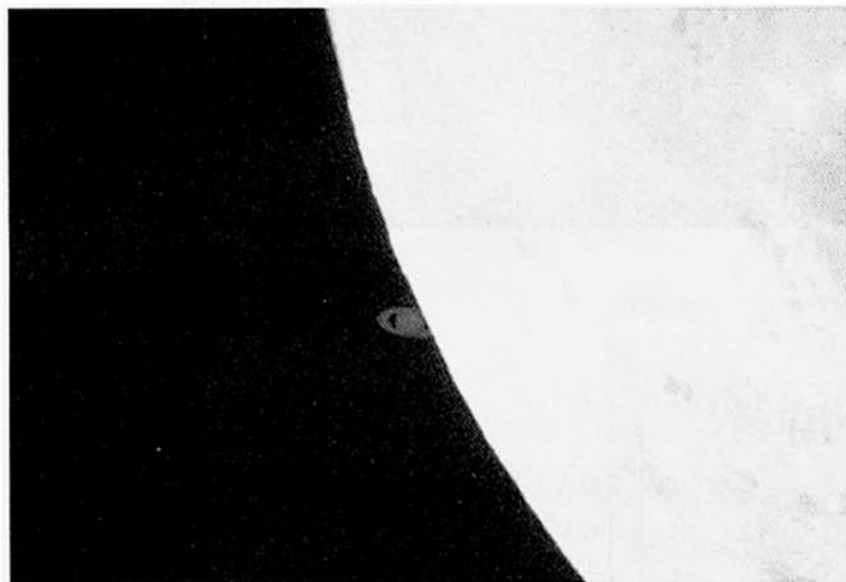
この間、木星のしま模様や土星の輪、また、上弦の月のクレーターを間近に見ることができますので是非お越しください。

団体、サークル活動の一環としての来館も是非どうぞ。

○土星食観望会

土星が月に隠される珍しい現象「土星食」が3月20日午後7時19分～8時22分にかけて起きるため、この様子を望遠鏡を使って観察します。

開催日時 平成14年3月20日(水)
説明会 午後7時30分から



お知らせ

4月1日より開館時間が夏時間と変わり、午後2時～10時30分までとなります。

売店 INFORMATION

天文台オリジナルTシャツ・テレカ・巾着袋・アイスクリーム、宇宙グッズとして宇宙食・星座ポスターなど販売しております。来館者の皆さんに陸別の思い出として購入していただいております。どうぞご利用ください。

発行・編集:りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL:01562-7-8100 FAX:7-8102

URL:<http://town.rikubetsu.hokkaido.jp/tenmon/index.html> E-Mail:ginga@town.rikubetsu.hokkaido.jp